

# 「2023年 技能五輪国際大会招致委員会」 を立ち上げました

厚生労働省では、2023年の技能五輪国際大会の日本での開催に向け、「2023年技能五輪国際大会招致委員会」を新たに設置しました(事務局：中央職業能力開発協会)。

この委員会は、労使団体、技能関係団体、愛知行政関係者、有識者など、幅広い分野で活躍する31人をメンバーに、オールジャパン体制で招致活動や招致機運の醸成に取り組むこ



委員の皆さまと加藤厚生労働大臣



挨拶をする加藤厚生労働大臣



委員長に就任した大村愛知県知事

とを目的としています。第1回は4月18日(水)に開催し、本委員会開催に当たり、加藤厚生労働大臣は「2023年の技能五輪国際大会の日本、愛知県への招致に向けて、オールジャパン体制で各国への働きかけ、国内の機運醸成に向けた積極的な情報発信をお願いします」と、挨拶をしました。

この委員会は、大村愛知県知事を委員長に、お笑い芸人の千原ジュニアさん、タレントの池澤あやかさん、左官職人の挾土秀平さんなど幅広い分野で活躍する31人の委員が、2023年、日本に技能五輪国際大会を招致するための機運を高め、選手を



愛知県のリーフレット

強化するための活動に取り組みます。

「技能五輪国際大会」は、次世代のものづくりを担う青年技能者が「技」の世界一を競い合う大会で、2年に一度開催されています。近年の開催実績では、45〜60か国・地域から800〜1300人ほどの選手が出場し、20万人以上の方が来場しています。

日本での開催は、日本選手が活躍する姿を国民に見てもらい、ものづくりなど技能のすばらしさをアピールする絶好の機会です。また、青年技能者にとっても国際大会を目標とすることで、世界を視野に入れた継続的な職業訓練がなされ、技能の向上につながる事が期待されます。

厚生労働省では、今回の委員会立ち上げを機に、国際大会の招致に更に力を入れて取り組んでいきます。

## 2023年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致までのプロセスについて

### 【招致に向けた検討開始】

- 「日本再興戦略 2016」(2016年6月閣議決定)において、技能五輪国際大会の日本への誘致に向けた具体的な方策を検討し、2017年度年次までに結論を得ることとされた。
- 2017年1月に職業能力開発局長(現人材開発統括官)の下、有識者による「技能五輪国際大会誘致に向けた検討会(座長 赤松明 ものつくり大学学長)」を設置。
- 検討会では、愛知県が取りまとめた「2023年技能五輪国際大会基本構想」を受け、①「日本をレベルアップする」、②「日本を発信する」、③「日本を盛り上げる」との観点から招致の意義を検討の上、2023年の技能五輪国際大会を日本(愛知県)で開催することを求める、とした。



### 【招致立候補の決定等】

- 2017年9月22日、厚生労働省として、2023年の技能五輪国際大会の招致(日本・愛知県)に立候補することを決定。同日の閣議において加藤厚生労働大臣から関係省庁にも招致に向けた協力をお願いしたい旨発言。
- 同年10月、アブダビで開催されたWSI総会において、日本が招致に立候補する意思があることを表明し、WSI役員や加盟国等に対して支持要請を実施。
- 2018年4月18日現在、立候補を国内で明言している国はフランス、立候補を検討している国はスイス。  
2019年8月の招致決定に向け、オールジャパン体制で招致プロモーション活動、国内機運の醸成等に取り組む必要。

### 【今後のスケジュール(予定)】

|          | 2017年度                         | 2018年度  | 2019年度       | .. | 2023年度                |  |
|----------|--------------------------------|---|--------------|----|-----------------------|--|
| 開催国      | 第44回 UAE(アブダビ)                 | WSI総会(オランダ・アムステルダム)   | 第45回ロシア(カザン) |    | 2019年8月 WSI総会(カザン)で決定 |  |
| 主なスケジュール | 9月 招致立候補の決定<br>10月 WSI総会(アブダビ) | 10月 WSI総会にて正式な募集開始・立候補の表明<br>1月頃 審査書類の提出<br>3月頃 WSI事務局 検証訪問<br>6月頃 立候補ファイル提出<br>8月末 WSI総会(カザン)にて開催地決定 |              |    |                       |  |

### ■ 2023年技能五輪国際大会招致委員会 委員名簿

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11806001-Shokugyounouryokukaihatsukyoku-Nouryokuhyoukaka/0000203102.pdf>

### 技能五輪国際大会について

#### ■ 技能五輪国際大会

青年技能者(原則22歳以下)を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催されている大会。製造・建設分野をはじめとする幅広い職種を対象とする、唯一の世界レベルの大会であり、日本選手団は、1962(昭和37)年から参加。過去日本においては、1970年の東京、1985年の大阪、2007年の静岡と計3回の国際大会を開催している。

#### ■ 近年の開催実績

- ・開催国：2017年アラブ首長国連邦、2015年ブラジル、2013年ドイツ、2011年イギリス、2009年カナダ、2007年日本(静岡)
- ・参加者：59か国・地域から選手1,250人(2017年大会実績)
- ・来場者：約26万人(2015年大会実績)

#### ■ ワールドスキルズインターナショナル(略称:WSI)

国際大会を運営する非政府組織であり、本部はオランダのアムステルダムにある。欧州やアジア地域をはじめとする79か国・地域が加盟している(2018年3月現在)。日本は、中央職業能力開発協会が加盟。

#### ■ 今後のスケジュール(例年のスケジュールに基づく想定)

- ・2018年10月：WSI総会(オランダ・アムステルダム)において、2023年の国際大会開催国の募集開始。
- ・2019年1月頃：立候補に向けた審査書類をWSI事務局に提出。
- ・ 3月頃：WSI事務局検証訪問。
- ・ 6月頃：立候補ファイルの提出。
- ・ 8月末：WSI総会(ロシア・カザン)において2023年の国際大会の開催地が決定。